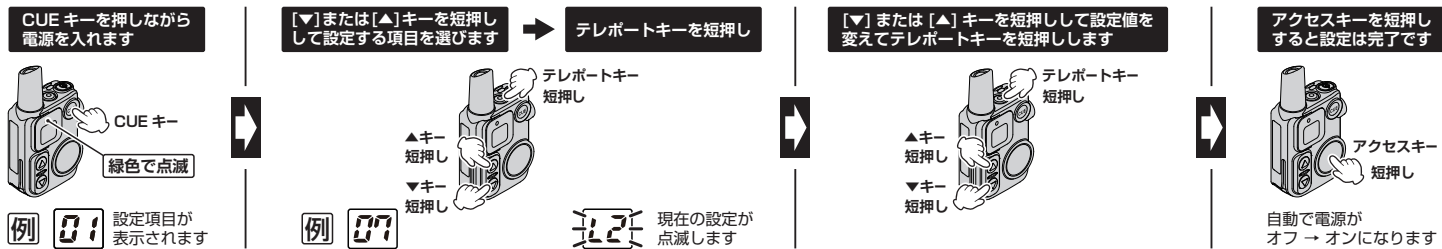


全体設定

15種類の機能設定で、本機の設定を使いやすくカスタマイズすることや、様々な機能を動作させることができます



機能項目	出荷時の設定	機能
CUE ビープ音量 画面表示 01	L3	L1 L2 L3 oF 音量小 → 音量大 音量オフ
CUE のビープ音を変える 画面表示 02	A	A b c 好みにあわせて3パターンから選択することができます
受信ビープ音量 画面表示 03	L2	L1 L2 L3 oF 音量小 → 音量大 音量オフ
送信ビープ音量 画面表示 04	L2	L1 L2 L3 oF 音量小 → 音量大 音量オフ
受信ビープモード 画面表示 05	RL	RL : 受信開始と受信終了時にビープ音が鳴ります bE : 相手の通話を受信開始した時にだけビープ音が鳴ります En : 相手の通話が終了した時にだけビープ音が鳴ります oF : ビープ音は鳴りません
送信ビープモード 画面表示 06	En	RL : 送信開始と送信終了時にビープ音が鳴ります bE : 送信を開始した時にだけビープ音が鳴ります En : 送信が終了した時にだけビープ音が鳴ります oF : ビープ音は鳴りません
キービープ音量 画面表示 07	L2	L1 L2 L3 oF 音量小 → 音量大 音量オフ
内部マイク感度 画面表示 08	L2	L1 L2 L3 感度小 → 感度大

機能項目	出荷時の設定	機能
外部マイク感度 画面表示 09	L2	L1 L2 L3 感度小 → 感度大
ホットライン機能 画面表示 10	oF	oN : CUE キーを押しながら話すと「ON」に設定したスタッフとだけ通話ができます oF : ホットライン機能は動作しません
アクセスキー動作 画面表示 11	L2	L1 : キーを短押しして送信を開始し、話し終わると自動で受信に戻ります。周りの音で受信に戻らない時はもう一度キーを押すと受信に戻ります。静かな場所で使う場合に適しています L2 : キーを短押しして送信を開始し、話し終わると自動で受信に戻ります。通常はこの設定で使います L3 : キーを短押しして送信を開始し、話し終わると自動で受信に戻ります。話しているのに受信状態に戻ってしまう場合はこの設定にします PL : キーを押し続けているときだけ送信します。放すと受信に戻ります ct : キーを短押しすると送信を開始し、もう一度短押しするまで送信を続けます oF : キーを押しても送信しません。受信専用になります
CH 番号表示 画面表示 12	oN	oN : チャンネル番号が表示されます oF : チャンネル番号の表示が消えます 2～4グループモード時は、グループ名表示は消えません
スケルチレベル 画面表示 13	L1	L1 L2 L3 : 設定値を大きくすると雑音は消えやすくなりますが、弱い電波が聞こえなくなることがあります
設定内容転送 画面表示 14	-	1. 設定を送る側と受ける側両方のSRS12の設定項目を「14」にあわせませ 2. 両方のSRS12のテレポートキーを短押しします(「rE」の表示になります) 3. 設定を送る側のテレポートキーを短押しして「tr」の表示に変わったらアクセスキーを短押しします 4. コピーが終了すると、自動で電源オフ→電源オンになります
秘話 画面表示 15	oF	oF : 秘話機能は動作しません(通常はこの状態で使います) 1 2 3 : 秘話モードを使用する時に、どれかを選択します 通話するグループ全員が同じ数字に合わせてください
出荷時リセット 画面表示 r5 (点滅)	-	1. 「rs」にあわせませ 2. テレポートキーを短押しします 3. 工場出荷時の状態に戻ります

マニュアルでチャンネルを変える (通常は変える必要はありません)

工場出荷時は、以下のチャンネルが割り当てられていますが、それぞれのチャンネルを01～20の中から選んで変更することができます

A1	A2	b1	b2	c1	c2	d1	d2	L
05	16	18	07	02	13	19	15	11

はじめに1台のチャンネルを変更する

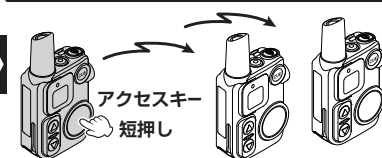
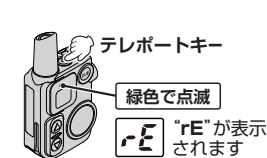
- [▼]と[▲]キーを同時に押しながら電源を入れます
- [▼]または[▲]キーを短押しして変更したいチャンネルを選びます
- テレポートキーを短押しします
- [▼]または[▲]キーを短押ししてチャンネルを変えて、テレポートキーを短押しします
- 電源を切ります
- 右記の「エアクローン」で、他のSRS12へ変更したチャンネルをコピーします



他のSRS12へ「エアクローン」で同期する

全てのSRS12でテレポートキーを押しながら電源を入れます

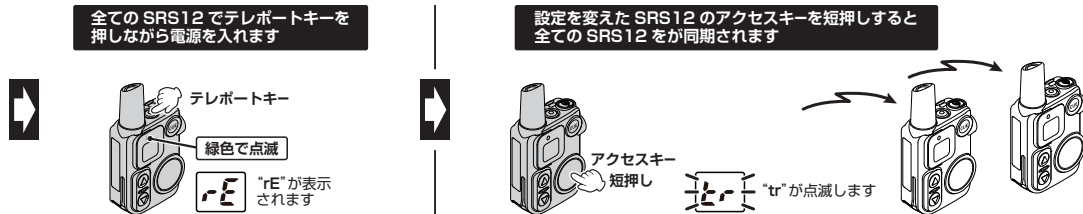
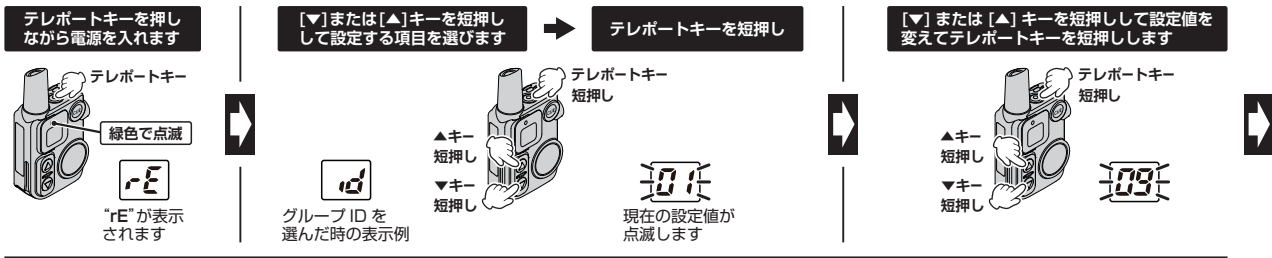
チャンネルを変えたSRS12のアクセスキーを短押しすると全てのSRS12が自動で同じチャンネルになります



全てのSRS12が同じチャンネルになります

必要に応じて各種設定を変更することができます（通常は変更する必要はありません）

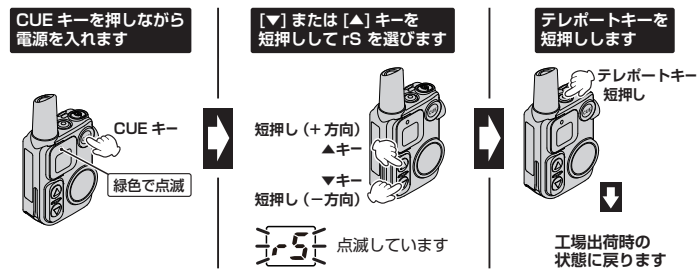
グループ内の全ての SRS12 の設定内容を同期したり、必要に応じて混信を気にせずに通信できる各種の設定を変更します
テレポートキーを押しながら電源を入ると、設定モードになります



項目	出荷時の設定	機能
エアクローン 1台のSRS12で設定した内容を他のSRS12にコピーすることができます		エアクローン受信待機 エアクローン送信 操作方法は別紙に記載の「⑤ 通話ができなかったりグループ以外の通話が聞こえるときは困ったときに、もし通話ができなくなったときはエアクローンで同期を直します」を参照してください
グループID 同じグループであることを識別するID番号です。ID番号が違うと通話できません。他のグループと同じID番号を使っていて混信が起こる場合は、ID番号を変えます		"00" ~ "99" の中から選びます 操作方法は別紙に記載の「⑤ 通話ができなかったりグループ以外の通話が聞こえるときは困ったときに、もし通話ができなくなったときはエアクローンで同期を直します」を参照してください

項目	出荷時の設定	機能
テレポート送信 画面表示 混信があるときにスタッフ全員のSRS12が別のチャンネルグループに自動で移動するテレポート機能をON/OFFします	通常はONで使用します 	テレポートキーを長押しするとスタッフ全員のSRS12が別のチャンネルグループに自動で移動します テレポートキーを長押ししてもテレポート機能は動作しません なお、他のスタッフがテレポート機能を動作させた場合は自分のSRS12は別のチャンネルグループに自動で移動します
エリアリサーチ 画面表示 現在のエリアの電波状態を分析して、A1～d2、Lの全てのチャンネルを混信が起こりにくいチャンネルに設定します	-	エリアリサーチ中（点滅） 操作方法は別紙に記載してある「エリアリサーチ機能」を参照してください

正常に動かない時は、工場出荷時の状態に戻す（リセット）



アフターサービス

正常なご使用状態で万一故障した場合は、お手数ですがお買い上げいただきました販売店にご相談ください。お問い合わせは、お買い上げいただきました販売店または、当社国内営業部までお願いします

八重洲無線株式会社
〒140-0013
東京都品川区南大井 6-26-3 大森ベルポート D-3F
TEL : 03-6404-6525
URL : <https://connect.yaesu.com>

- 保証期間はご購入の日より3年間です
お買い上げいただいた日から3年以内に、取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合には、無料で修理をお引き受けします。誤った使い方や過失などによる故障や破損は、保証期間中であっても有償修理の対象となります
- 内蔵電池は消耗品のため保証対象外です。化学的経年劣化なども保証対象外です
- 内蔵電池の交換（有償）は、お買い上げいただきました販売店または、当社国内営業部までお問い合わせください
- 本機を廃棄する際は、お住まいの地域の「充電電池内蔵機器」の廃棄ルールに従って処分してください



防水性能について

本機は、イヤホンやマイクをしっかりと接続した状態でIEC国際規格IP68相当（防塵等級6^{*}、防水等級8^{**}）の防塵、防水性能を有しています。この性能を永く確保していただくために、必ずご使用になる前に下記の項目をご確認ください。イヤホンやマイク本体は防水ではありません

- * 1 : 粉塵が内部に侵入しない
- * 2 : 水深1.5mに30分間没しても有害な影響を受けないこと

正しくご使用いただくために

- マイク感度や防水性能が低下しますので、マイク部分を「触ったり」「ぶつけたり」しないでください
- 本機にマイクやイヤホンなどを接続する際は、必ず当社純正オプションを使用してください
当社純正品以外のオプションを使用すると、故障や破損の原因になります
当社純正品以外のオプションの使用が原因で生じた故障や破損、および事故などの損害については、弊社では一切責任を負いません
- 電波法により、トランシーバーを分解・改造することは禁じられています
- 内部の点検・修理は、お買い上げいただきました販売店にご依頼ください

その他

- ご利用にあたって
- 本体底面に貼り付けてある「証明ラベル」を剥がしたり、「分解」や「改造」を行うことは、法律で禁止されています
- 他人の会話を聞いて、その内容を漏らすと法律で罰せられることがあります
- 免責事項
- 取扱説明書に記載の使用法とは異なる使用方法により発生した故障、障害、損害について、当社は一切責任を負いません
- 本機を使用して生じた障害や損害について、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切責任を負いません

定格

送受信周波数 : 交互通話（単信）422MHz帯（20ch）（12.5kHzステップ）
中継通話（半復信）421MHz帯/440MHz帯（27ch）（12.5kHzステップ）

電波型式 : F3E、F2D
通信方式 : 単信方式および半復信方式
送信出力 : 10mW以下/1mW以下
受信感度 : -15dB μV以下 (@12dB SINAD)
低周波出力 : 50mW以上 (@32Ω、ポリウム最大時)
動作温度範囲 : -10℃～+50℃
定格電圧 : DC 3.6V（内蔵リチウムイオンバッテリー）
使用可能時間 : 約17時間（ヤエスコネク使用時）約21時間（ノーマルモード時）
※送信6、受信6、待受け48の割合による運用時

寸法 : 約40(幅)×55(高さ)×20(厚み)mm（アンテナおよび突起部を含まず）
重量 : 約50g
防塵・防水 : IP68

RoHS 指令準拠

この定格は性能向上のため予告なく変更することがあります